

「全学年・全学級での学級編成」について

本校では、令和3年度より「全学年・全学級での学級編成」（毎年、全学年でクラス替えを行うこと）を行っています。

現在もそうですが、今後はさらに変化の激しい時代と言われています。子供たちは変化に対応したり、その中で主体的に活動したりしていかなくてはなりません。

1年ごとの学級編成を行うことによって、子供たちに「新しい集団の中での人間関係を構築していく力」を身につけてもらいたいと考えています。また、先生や友達関係が新しくなることで、「新しい自分のよさ」に気づいたり、引き出したりしてもらえることも期待できます。「変化に慣れる」「新しい関係を作る」「つまずきを乗り越える」といったことを通して「自分を発見する（メタ認知する）」経験を、柔軟でかつ保護者や先生等が手を差し伸べやすい小学生の時期に積み重ねることができます。

また、学級を越えて「河辺小学校〇年生」としての意識が高まることが期待できます。多くの友達と関わることで、所属感や一体感が高まることや「居場所ができる」「友達が増える」といった社会性の伸長も期待できます。中学校へ進学以降も、学年全体に関係が広がっていることで、支え合う関係が生まれやすくなります。

もし、友達関係等でトラブルがあっても、関係が広がっていることで、支えてもらえたり、気持ちが切り替えやすかったりすることが期待できます。クラス替えを節目に、「新しい気持ちで頑張ろう」という機会も作ることができます。

1年ごとの学級編成は、「児童の成長に合わせ、学級ごとの偏り（学力、体力、人間関係等）を毎年見直すことができる。」「教職員の異動やクラスの様子に対応して、適材適所の教職員配置を行いやすい。」等、学校運営の面からも利点が多くあります。

学級編成（クラス替え）を1年ごとへすることで、指導の継続性や新しい環境に慣れるのに時間がかかる児童もいることなど、ご心配な点もあるかと思えます、

河辺小学校では、これまでも「先生によって違う」をできるだけ避けるため、「河辺小授業スタイル（授業）」「ドリルタイム、ステップアップクラス（基本的・基礎的学力）」「宿題の出し方（家庭学習）」「河辺しぐさ（生活指導）」等々、組織としての取組を充実させてきました。今後は、も情報共有や組織的対応などを徹底し、ご不安の低減に努めてまいります。

このようなことから、「全学年・全学級での学級編成」を実施させていただくこととしました。どうぞ趣旨をご理解いただき、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

青梅市立河辺小学校 校長 関谷 望